

劇団員追加募集オーディション

新百合ヶ丘発！ 市民劇団・劇団わが町

川崎市アートセンター小劇場で行う2024年公演（新作）や、さらにその先を見据えた活動を行います。舞台が好きなた方はもちろん、未経験でも大丈夫。地域の新しい仲間との作品創りの楽しさや演劇に触れる充実感を共有しませんか？



2023年公演「あしものいずみ」
(撮影：関口淳吉)

コロナはやっと下火になりました。
一人おきにしかなかった劇場の座席も、満員にしてもいいことになりましたし、劇団わが町でも、出演者にマスクをさせるかどうかで神経を使うことも無くなりました。
コロナのおかげでハッキリしたことが、いっぱいあります。
この国の医療体制など様々な問題が山積みだということも、私たちが、思いのほかウワサに弱いということも。
私が強調したいのは、コロナで上演に「待た」がかかったおかげで、生の演劇の素晴らしさ、必要性がハッキリしたということです。
三年近く、満員の客席に見放されていた劇場が、本来の命を取り戻したとき、「ああ、演劇ってやっぱり素晴らしい！」と、俳優も観客も感動を共にしたのです。
その感動を、一緒に体験しませんか？
多分その体験は、あなたの生き甲斐になることでしょう。
劇団わが町は、あなたをお待ちしています。

劇団わが町・芸術監督 ふじたあさや

オーディションについて

- 日程 2024年4月21日（日）10：00～18：00
- 会場 川崎市アートセンター小劇場（小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩3分）
- 応募条件
 - ・2024年公演（新作）の本番、その先の活動に参加できる方
 - ・新百合ヶ丘周辺での稽古に通える方 ※出欠は応相談
(基本は週末の午後を中心に週1～2日、公演が近付くにつれ平日の夜間も加わり週3～5日)
- オーディション内容 「身体を動かす」、「台詞を読む」、「面談」
★応募者多数の場合は「書類選考」を行います。
- 応募方法 詳細はチラシ裏面または川崎市アートセンターHPをご覧ください。

劇団わが町 2024年公演スケジュール

- 日程 事前ワークショップ：2024年6月～7月に3～4回実施 / 稽古：8月中旬開始
本番：11月29日（金）～12月1日（日）予定
- 会場 川崎市アートセンター小劇場

応募される方へのお願い

- ・劇団わが町は単発の企画ではなく、長期的な活動をしています。ワークショップや稽古を重ね、上記の公演やさらにその先に続きます。ご理解の上、ご応募ください。
- ・このオーディションは出演者オーディションではありません。
出演、スタッフワークなどあらゆる方法で舞台創りにご参加いただけます。
- ・劇団わが町への参加費はかかりません。

お問い合わせ 川崎市アートセンター ☎ 044-955-0107 (9：00～19：30)

主催：川崎市アートセンター／後援：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
企画・制作：川崎市アートセンター／NPO法人KAWASAKI アーツ

川崎市アートセンター
小劇場

HP



X



X



Instagram



f



劇団わが町



オーディション応募用紙

応募希望の方は、下記必要事項をご記入の上、郵送または FAX にてご応募ください。応募締切後、オーディション当日のご案内、または**応募者多数の場合は書類選考結果**をお送りします。締切後 1 週間経っても連絡がない場合はお問い合わせ下さい。

応募先 宛名：川崎市アートセンター 劇団わが町オーディション係 〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-1 / FAX:044-959-2200		締切：2024 年 4 月 5 日（金）必着	
フリガナ 氏名	性別	年齢	職業
Tel		Mail	
住所 〒			
劇団わが町の公演をご覧になったことはありますか？		ある ・ ない / 作品名：	
※「ある」と答えた方は作品の感想をご記入ください。			
趣味・特技			
舞台経験 ※学校や習い事の発表会等も含む			
なぜ「劇団わが町」に応募しましたか？			
演劇はなぜ必要だと思いますか？			
保護者記入欄 ※未成年者が応募する場合、ご記入ください。			
氏名		Tel	

しんゆりシアター

アルテリオ小劇場は創造発信する公演を「しんゆりシアター」と名付け、地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。

リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この仕組みを理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点となる地域劇場を目指します。

劇団わが町

2012 年に生まれたゆるやかな劇団です。10-82 歳までの 48 名が所属しています。劇団を率いるのは劇団わが町芸術監督ふじたあさや氏。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行っていきます。

〔過去の上演作品〕

『わが町しんゆり』、『夢見る人』、『ザ・チェーホフ』、『わが町 - 溝の口』、『恐れを知らぬ 27 人の劇作家？と 49 人の俳優たち』、『クリスマス・キャロル』、『みずゞ凜々』、『題未定』、『グスコブドリの伝記』、『とんでもない大晦日～しんゆりクリスマス・キャロル～』、『「あしもとのいずみ」2023 ～陸軍登戸研究所をめぐる物語～』

ふじたあさや (劇団わが町芸術監督) プロフィール

東京生まれの疎開世代。早稲田大学演劇専修在学中に福田善之と『富士山麓』を合作。放送作家を経て劇団三十人会を皮切りに劇作家・演出家として活躍。日本演出家協会理事長をはじめ、芸団協・日本劇団協議会・日本劇作家協会・児演協など演劇関係団体の役員、昭和音楽大学特任教授を歴任。アシテジ (国際児童青少年演劇協会) 名誉会員。NPO 法人 KAWASAKI アーツ理事長。平成 18 年度川崎市文化賞受賞。川崎市麻生区在住。

〔主な作品〕【戯曲】『日本の教育 1960』、『ヒロシマについての涙について』 (以上三十人会)、『さんしょう大夫』 (前進座・斎田戯曲賞受賞)、『サンダカン八番娼館』 (文化座)、『しのだづま考』 (京楽座・芸術祭大賞受賞)、『ベッカニコおに』 (劇団えるむ)、『ミュージカル・ねこはしる』、『ミュージカル・ミラクル』 (昭和音楽大学)、『臨界幻想 2011』 (青年劇場)、『ミュージカル・のっぽの古時計』 (川崎市アートセンター) ほか / 【演出】『うたよみざる』 (歌座)、『女殺油地獄』 (人形劇団クラルテ・芸術祭大賞受賞) ほか